

# 教育研究業績書

2018年05月14日

所属：健康・スポーツ学科

資格：准教授

氏名：岡崎 祐史

研究分野	研究内容のキーワード
スポーツ経営学 武道（柔道）	スポーツ経営・雇用契約・柔道
学位	最終学歴
修士（経営学）、学士（体育学）	大阪経済大学大学院 経営学研究科 経営学専攻 修士課程 修了

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
<b>1 教育方法の実践例</b>		
1. 柔道関連授業での安全実施への取り組み	2017年4月～	柔道および保健体育科指導法Ⅷにおいて、安全性を高めることにより、当然ではあるが無事故での授業展開を目指している。そこで、投げ技に関してはディフェンス量（クッション性の高い畳）を使用することで、安全な授業展開を実践している。
2. 柔道授業での技の習得度向上と安全実施につながる工夫	2016年4月～	柔道授業において、投げ技の足運びを示したシートを使用し、正確な足の動きを習得させることで技の完成度を向上させている。また、正確な足運びを習得することは、身体の重心を安定させるとともに相手の負荷も支えることが可能となることから、安全性の高い実技実施につながっている。
3. 学生の授業内容向上のための取り組み	2015年4月～	授業に関する意見を学生にヒアリングすることで、学生が興味を持っていること、関心があることを理解し、具体的に取り入れ、授業内容の向上を目指している。
4. 柔道初心者への指導方法	2013年5月1日～現在	障害者武道（柔道）の研究を進める中で学会および現場での指導へ参加し、柔道の技術を細かく砕いた指導を見出し本学柔道授業で実践している。
5. 双方向の授業の実践例（演習 実技）	2013年4月～	学生の積極的な授業参加を促すため、授業アンケート以前に、柔道授業において技の要点を発表させるとともに、改善法については質疑応答で対応させている。
<b>2 作成した教科書、教材</b>		
1. 足型マット	2016年4月～	柔道授業の教材として、投げ技における足さばきの理解を深める学習補助として使用する足型マットを提案
<b>3 実務の経験を有する者についての特記事項</b>		
<b>4 その他</b>		
1. 附属中高への指導	2011年4月～	附属中高の柔道部員に対して、柔道指導のみならず、勉学そして生活についても日々指導を実施している。
2. 全国大学体育連合近畿支部への携わり	2011年3月～2013年2月	全国大学体育連合近畿支部へ事務関係で活動
3. 担任業務	2010年4月（2012年4月～2013年3月、2014年4月～2015年3月を除く）～2017年3月	短健の担任として、勉学、生活、進路等への指導を実施した。
4. 柔道部部长および監督	2010年10月～	柔道部部长および監督として、柔道指導だけではなく、勉学そして生活についても日々指導を実施している。

職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
<b>1 資格、免許</b>		
1. 公認柔道指導者A指導員	2017年3月30日～現在	公益財団法人全日本柔道連盟認定の柔道指導者A指導員である
2. 甲種防火管理者	2016年3月10日～現在	甲種防火管理者講習の課程修了。
3. 講道館柔道六段	2010年01月～	
4. 財団法人日本体育協会公認スポーツ指導者 柔道 コーチ	2003年09月～	
5. 全日本柔道連盟審判B級ライセンス取得	1997年04月～	
6. 高等学校教諭一種免許 保健体育	1993年03月～	
7. 中学校教諭一種免許 保健体育	1992年03月～	
<b>2 特許等</b>		
<b>3 実務の経験を有する者についての特記事項</b>		
<b>4 その他</b>		
1. 鳴松会の四国地区総会への参加	2017年8月	鳴松会の四国地区総会への出席
2. スポーツクラブ武庫女運営委員会 副委員長	2017年4月～	スポーツクラブ武庫女運営委員会で副委員長として活動
3. 紀要委員	2017年4月	紀要委員として活動

職務上の実績に関する事項				
事項	年月日	概要		
<b>4 その他</b>				
4. 兵庫県学生柔道副理事長	2016年4月～	兵庫県学生柔道副理事長として活動		
5. 人権推進委員	2016年4月～	人権推進委員として活動		
6. 附属高校への出前授業	2016年2月	附属高校で3年生1クラスにおいて授業を実施		
7. 学生委員	2011年9月～2013年3月	学生委員として活動		
8. その他、学科関係での委員としての活動	2010年4月～	入試検討委員をはじめ複数の委員として活動		
9. 関西学生柔道連盟理事	2010年4月～	関西学生柔道連盟理事として活動		
研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
<b>1 著書</b>				
1. 全国高等学校柔道選手権大会三十周年記念誌 三十年の軌跡	共	2009年2月	全国高等学校柔道選手権大会大会実行委員会発行	P36 「優勝監督 思い出」を担当
2. 第61回国民体育大会総合優勝記念誌 めざせ頂点はばたけ兵庫	共	2007年1月	兵庫県競技力向上対策本部発行	P213 「国体を終えて」と題して担当
<b>2 学位論文</b>				
1. スポーツ選手の雇用契約に関する研究	単	2011年04月	大阪経済大学大学院	自分の経験から会社におけるスポーツ選手の地位・身分についての検討をし、次いでスポーツ選手雇用契約の実態を踏まえて、スポーツ選手契約と代理人の活用について考察した。スポーツ界における独特の風潮（厳格な上下関係、または師弟関係）の影響が、現代社会にいまなお、根強く残っているのである。つまり、スポーツ界における独特な風潮の影響を全く受けることなく、被用者が会社と雇用契約の交渉ができ、かつ被用者が会社と雇用契約の交渉を実施したが故に不利益を被らないようなシステム、いわゆるスポーツ代理人制度の構築が待たれているといえる。
<b>3 学術論文</b>				
1. 大学生柔道選手におけるライフスキル獲得の様相	共	2018年3月	関西武道学研究 第27巻 第1号 別冊	岡田龍司、木下理恵、岡崎祐史、徳安秀正、村元辰寛 P1-9
2. 大学生柔道選手におけるライフスキルの獲得を促すコーチングスキルの認知に関する研究（査読付）	共	2017年3月	関西武道学研究 第26巻 第1号	岡崎祐史、岡田龍司、徳安秀正、山本浩二 P1-9 本研究では、大学において高度なレベルで競技を行う柔道選手544名を対象として、LSの獲得を促すCSの認知度とLS獲得との関係性から性別ごとに検討した。まず、CSの認知度について検討したところ、女子の方が男子よりも有意に高いことが示された。次に、相関分析の結果、男子は両変数間において複数の有意な正の相関関係が認められたが、女子はそれらの関係性が男子と比較して希薄であると考えられた。さらに、重回帰分析の結果、男女ともにCSの各側面がLSの獲得に有意な正の影響を及ぼしていたが、女子はその影響は男子よりもみられなかった。以上の結果は、女子のLS獲得レベルが高い可能性を示唆しており、今後は女子柔道選手に対するコーチングの具体的な方略について検討する必要性が挙げられた。
3. SURVEY ON ATTITUDE TOWARD JUDO -WITH JAPANESE UNIVERSITY JUDO ATHLETES AND REGULAR STUDENTS AS SUBJECTS-（査読付）	共	2016年9月	Proceedings of the 2016 International Association of Computer Science in Sport (IACS) Conference	Yuji Okazaki, Ryuji Okada, Hidemasa Tokuyasu, Yasuhiko Moriwaki P129-132 本研究は、日本の大学柔道選手群と一般学生群（T大学、D大学、K大学、R大学、RY大学、O大学、M大学の7大学733名）を対象に、柔道に対する意識調査を実施しどのようなイメージを持っているかを検討した。以上の大学選手群と一般学生群の結果から、1）性別は、女性が「柔道衣の白と青」の必要性和「柔道はスポーツである」と見なす傾向を強く示し、2）経験年数は、未経験者が「柔道衣の白と青」の必要性和「柔道はスポーツである」と見なす傾向を示す結果となった。
4. 動画を使った内股の相違の発見ー代表的柔道家の内股の相違ー（査読付）	共	2016年3月	近畿大学教養・外国語教育センター紀要（一般教養編）第6巻 第1号	岡田龍司、村元辰寛、徳安秀政、岡崎祐史、穴井隆将、倉賀野哲造 P13-21 本研究は、投げ技を「内股」の一本勝ちに限定して、2人の柔道家の動作の違いを解析したところ2人の動作に大きな相違を発見したので報告することとした。100kg以下級の柔道家の「掛け時間」は100kg超級の柔道家の「掛け時間」の約半分であることを発見した。さらに100kg以下級の柔道家の相手を投げる合成速度は、100kg超級の柔道家の約2倍であることを発見した。このように、代表的男子柔道家の「内股」を解析し、その動きを学習し、動作をまねることにより一般柔道家の「内股」の技術を向上させることができるであろうといえる。

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・ 共著書別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は学会等の名称	概要
-------------	-------------	---------------	-----------------------	----

3 学術論文

5. 大学生柔道選手におけるライフスキル獲得とキャリア成熟との関連 (査読付)	共	2016年12月	神戸医療福祉大学紀要 Vol.17 (1)	<p>山本 浩二・島本 好平・岡田 龍司・岡崎 祐史・中山 忠彦・矢野 裕介 107~115</p> <p>本研究では、高度なレベルで競技を行う大学生柔道選手を対象として、LSの獲得とキャリア成熟との関係性、LSの獲得がキャリア成熟に及ぼす影響について検討した。その結果、両変数間の関係性において全般的に有意な正の関係性が示され、特に、LSの「最善の努力」や「責任ある行動」および「考える力」と、キャリア成熟との間に中程度の有意な正の関係性が示された。さらに、LSの「体調管理」や「考える力」、「感謝する心」がキャリア成熟尺度の各下位尺度に有意な正の影響を及ぼしていたことが明らかになった。したがって、大学生柔道選手のLSを活用したキャリア教育プログラムには、「考える力」を中心とした構成を行っていくことが肝要なことであろう。</p>
6. 2001年に開催された世界柔道選手権大会における男子の卓越した立ち技の動作解析 (査読付)	共	2015年3月発行別冊	近畿大学教養・外国語教育センター紀要 (一般教養編)	<p>岡田龍司、徳安秀政、岡崎祐史、穴井隆将、倉賀野哲造 P39-46</p> <p>本研究は、2001年7月にドイツのミュンヘンで開催された世界柔道選手権大会における卓越した男子100kg級柔道家の投げ技の動作解析を実施した。卓越した投げ技の例として、男子100kg級柔道家1人の「内股」、「大内刈り」から「大外刈り」の連続技、「背負い投げ」の動作解析を行い、それぞれの技について結果を示した。</p>
7. 柔道に対するイメージ調査の研究—日本人及び外国人柔道選手群を対象として— (査読付)	共	2014年3月31日	近畿大学教養・外国語教育センター紀要 (一般教養編) 第3巻 第1号	<p>岡田龍司、徳安秀正、岡崎祐史、松田基子、森脇保彦、中島たけし P61-72</p> <p>本研究は、日本人柔道選手群と韓国人柔道選手群、アメリカ人柔道選手群を対象に柔道に対する意識調査を実施し、選手が柔道に対して、どのようなイメージを持っているかを比較検討することとした。結果、日本人柔道選手群においては、一本勝ちを強く意識することなどを目的とした競技的意識と怪我や外見を気にする身体的意識、さらに伝統や文化を重んじる意識が高く現れた。また、韓国人柔道選手群、アメリカ人柔道選手群においては、自身の内面的向上と共に柔道技術の向上を意識し、柔道を通して精神的な成長を強く意識されていることがうかがえた。以上のことから柔道創始者嘉納治五郎師範が理想とした柔道は、伝統的な精神文化としての柔道と試合を主とした競技的柔道が、別々に普及・発展していると考えられる。</p>

その他

1. 学会ゲストスピーカー

--	--	--	--	--

2. 学会発表

1. 大学柔道選手におけるライフスキル獲得の様相	共	2016年9月8日	日本武道学会第49回大会	<p>ポスター発表 武道学研究 第49回別冊 日本武道学会第49回大会研究発表抄録 P122 岡田龍司 (近畿大学)、村元辰寛 (大阪体育大学)、山本浩二 (神戸医療福祉大学)、島本好平 (兵庫教育大学大学院)、岡崎祐史 (武庫川女子大学)、徳安秀政 (東京有明医療大学)、生駒知也 (履正社高校)、正木嘉美 (天理大学)</p>
2. 大学生柔道選手におけるコーチングの認知に関する研究	共	2016年9月8日	日本武道学会第49回大会	<p>ポスター発表 武道学研究 第49回別冊 日本武道学会第49回大会研究発表抄録 P121 岡崎祐史 (武庫川女子大学)、山本浩二 (神戸医療福祉大学)、島本好平 (兵庫教育大学大学院)、岡田龍司 (近畿大学)、徳安秀政 (東京有明医療大学)、村元辰寛 (大阪体育大学)、生駒知也 (履正社高校)、正木嘉美 (天理大学)</p>
3. 大学生柔道選手のライフスキル獲得とキャリア成熟との関連	共	2016年9月7日	日本武道学会第49回大会	<p>一般研究発表 武道学研究 第49回別冊 日本武道学会第49回大会研究発表抄録 P34 山本浩二 (神戸医療福祉大学)、島本好平 (兵庫教育大学大学院)、岡田龍司 (近畿大学)、岡崎祐史 (武庫川女子大学)、徳安秀政 (東京有明医療大学)、村元辰寛 (大阪体育大学)、生駒知也 (履正社高校)、正木嘉美 (天理大学)</p>
4. 体育・スポーツ系学生の健康観に関する研究 (II)	共	2016年9月1日	日本応用心理学会第83回大会	<p>ポスター発表 日本応用心理学会 第83回大会 発表論文集 P33 田崎元久 (道都大学)、大関貴久 (東日本国際大学)、福場久美子 (日本体育大学)、森脇保彦 (国土</p>

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
<b>2. 学会発表</b>				
5. 体育・スポーツ系学生の健康観に関する研究 (I)	共	2016年9月1日	日本応用心理学会第83回大会	館大学)、岡田龍司(近畿大学)、岡崎祐史(武庫川女子大学)、藤田圭一(日本体育大学) ポスター発表 日本応用心理学会 第83回大会 発表論文集 P32 大関貴久(東日本国際大学)、田崎元久(道都大学)、福場久美子(日本体育大学)、森脇保彦(国士館大学)、岡田龍司(近畿大学)、岡崎祐史(武庫川女子大学)、藤田圭一(日本体育大学)
6. SURVEY ON ATTITUDE TOWARD JUDO -WITH JAPANESE UNIVERSITY JUDO ATHLETES AND REGULAR STUDENTS AS SUBJECTS-	共	2016年8月1日	International Congress on Sports Science and Computer In Sports (2016 IACSS)	International Congress on Sports Science and Computer In Sports(2016 IACSS) 場所:ブラジル・ブラジリア大学 岡崎祐史(武庫川女子大学)、岡田龍司(近畿大学)、徳安秀政(東京有明医療大学)、森脇保彦(国士館大学)
7. MEN JUDO MOTION ANALYSIS BY WEIGHT CLASSES -MATCHES HELD IN 2012 IN LONDON-	共	2016年8月1日	International Congress on Sports Science and Computer In Sports (2016 IACSS)	International Congress on Sports Science and Computer In Sports(2016 IACSS) 場所:ブラジル・ブラジリア大学 岡田龍司(近畿大学)、村元辰寛(大阪体育大学)、徳安秀政(東京有明医療大学)、岡崎祐史(武庫川女子大学)、森脇保彦(国士館大学)、倉賀野哲造(明星大学大学院)
8. RESULTS OF JUDO REHABILITATION FOR PEOPLE WITH INTELLECTUAL DISABILITIES -CASE REPORTS OF JUDO TRAINING IN JAPAN-	共	2016年8月1日	International Congress on Sports Science and Computer In Sports (2016 IACSS)	International Congress on Sports Science and Computer In Sports(2016 IACSS) 場所:ブラジル・ブラジリア大学 徳安秀政(東京有明医療大学)、岡田龍司(近畿大学)、岡崎祐史(武庫川女子大学)、小山浩司(東京有明医療大学)、森脇保彦(国士館大学)、橋本昇(東京有明医療大学)
9. 福島及び東京在住学生の健康観の研究一性差・年次差の項目別検討一	共	2015年9月5日	日本応用心理学会	ポスター発表 日本応用心理学会第82回大会 発表論文集 P65 岡田龍司(近畿大学)、大関貴久(東日本国際大学)、森脇保彦(国士館大学)、福場久美子(日本体育大学)、矢崎利加(国際武道大学)、徳安秀政(東京有明医療大学)、岡崎祐史(武庫川女子大学)、藤田圭一(日本体育大学)
10. 福島及び東京在住学生の健康観の研究一因子得点の地域差・性差一	共	2015年9月5日	日本応用心理学会	ポスター発表 日本応用心理学会第82回大会 発表論文集 P67 森脇保彦(国士館大学)、大関貴久(東日本国際大学)、岡田龍司(近畿大学)、福場久美子(日本体育大学)、矢崎利加(国際武道大学)、徳安秀政(東京有明医療大学)、岡崎祐史(武庫川女子大学)、藤田圭一(日本体育大学)
11. 福島及び東京在住学生の健康観の研究一地域差の項目別検討一	共	2015年9月5日	日本応用心理学会	ポスター発表 日本応用心理学会第82回大会 発表論文集 P66 大関貴久(東日本国際大学)、森脇保彦(国士館大学)、岡田龍司(近畿大学)、福場久美子(日本体育大学)、矢崎利加(国際武道大学)、徳安秀政(東京有明医療大学)、岡崎祐史(武庫川女子大学)、藤田圭一(日本体育大学)
12. 日本武道学会第47回大会 障害者武道専門分科会企画 シンポジウム 報告	共	2015年	日本武道学会 武道学研究 第47巻 第3号 平成27年別冊	障害者武道専門分科会企画 シンポジウム 報告 「障害者による武道を変える 障害者による武道で変わる ースウェーデン・オーストラリア・ニュージーランドでの知見から」 会場:福山市立大学 指定報告者:岡田龍二(近畿大学)、徳安秀政(東京有明医療大学)、岡崎祐史(武庫川女子大学)、近藤雅一(わらしべ会)、中島たけし(障害者武道協会)、濱名智男(日本文化大学)、中尾智栄子・安田友美・黒瀧万里(武庫川女子大学) コーディネーター:森脇保彦(国士館大学)、松井完太郎(国際武道大学)
13. 「ロンドンオリンピック柔道選手の動作分析」一60kg以下級および100kg超級を対象として一	共	2014年09月10日	日本武道学会	ポスター発表 岡田龍司(近畿大学)、徳安秀政(東京有明医療大学)、岡崎祐史(武庫川女子大学)、山内直人(国士館大学)、穴井隆将(天理大学)、松田基子(大阪体育大学)、矢崎利加(国際武道大学)、田辺陽子(日本大学)、倉賀野哲造(明星大学大学院)
14. 寮・合宿所はどのようにイメージされているのか	共	2013年9月15日	日本応用心理学会 第80回記念大会	ポスター発表 日本応用心理学会 第80回記念大会発表論文集 P132 森脇保彦、岡崎祐史、大関貴久、岡田龍司、徳安秀政、山内直人、中島たけし、藤田圭一、
15. Motion analysis of the stand technique for men in the All Japan Judo Championship	共	2013年9月12日	日本武道学会 第46回大会 第1回国際武道会議	ポスター発表 OKADA Ryuji, TOKUYASU Hidemasa, MORIWAKI Yasuhiko, MATSUDA Motoko, OKAZAKI Yuji, NAKAJIMA Takeshi, KURAGANO Tetsuzo, YAMAUCHI Naoto,

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・ 共著書別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は学会等の名称	概要
<b>2. 学会発表</b>				
16. シンガポールにおける柔道の意識 調査－柔道経験者を対象として－	共	2012年09月0 6日	日本武道学会創立45 周年記念大会	ポスター発表 岡田龍司（近畿大学）、岡崎祐史（武庫川女子大学） 、森脇保彦（国士舘大学）、中島たけし（国士舘 大学）
<b>3. 総説</b>				
<b>4. 芸術（建築模型等含む）・スポーツ分野の業績</b>				
1. 全日本ジュニア柔道体重別選手権 大会出場1名輩出		2017年9月9 日	全日本柔道連盟	部長・監督として
2. 関西学生柔道体重別選手権大会 70kg級第2位輩出		2017年9月3 日	関西学生柔道連盟主催	部長・監督として
3. 平成29年度関西学生柔道優勝大会 5人制第3位		2017年5月	関西学生柔道連盟	部長・監督として
4. 関西学生柔道体重別選手権大会 78kg級第2位輩出	単	2016年9月4 日	関西学生柔道連盟主催	部長・監督として
5. 関西学生柔道体重別選手権大会 78kg超級第3位輩出	単	2016年9月4 日	関西学生柔道連盟主催	部長・監督として
6. 全日本学生柔道体重別選手権大会 78kg級ベスト16 輩出	単	2016年9月	全日本学生柔道連盟	部長・監督として
7. 平成28年度関西学生柔道優勝大会 5人制第3位		2016年5月	関西学生柔道連盟	部長・監督として
8. 全日本学生柔道体重別選手権大会 70kg級第5位 輩出		2015年9月	全日本学生柔道連盟主 催	部長・監督として
9. 関西学生柔道体重別選手権大会 70kg級第2位輩出		2015年8月31 日	関西学生柔道連盟主催	部長・監督として
10. 講道館杯全日本体重別柔道大会 70kg級出場		2015年10月	全日本柔道連盟主催	部長・監督として
11. ABCD国際障害者武道協会冬季キャン プ（スウェーデン）にインスト ラクターとして参加	単	2014年2月5 日5~18	ABCD国際障害者武道協 会	ABCD国際障害者協会スウェーデンからの依頼により 、冬季キャンプ（セミナー）にインストラクターと して参加した。
12. 全日本学生柔道体重別選手権大会 70kg級出場 輩出		2013年9月28 日	全日本学生柔道連盟主 催	部長・監督として
13. 関西学生柔道体重別選手権大会 70kg級第3位輩出		2013年9月	関西学生柔道連盟主催	部長・監督として
14. 全日本学生柔道優勝大会5人制団 体 出場		2013年6月	全日本学生柔道連盟主 催	
15. 全日本学生柔道体重別優勝大会 団体ベスト16		2013年11月2 日	全日本学生柔道連盟主 催	7階級の階級別で、7人による団体戦。初出場、ベ スト16。
16. 全日本ジュニア柔道体重別選手権 大会出場2名輩出		2012年9月	全日本柔道連盟主催	部長・監督として
17. 関西学生柔道体重別選手権大会 57kg級第3位輩出		2012年9月	関西学生柔道連盟主催	
18. 全国高校体育連盟柔道部（表彰）		2011年08月		全国高体連柔道部より、表彰を受けた。
<b>5. 報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等</b>				
1. 障がい者武道専門分科会企画シン ポジウム		2014年09月1 1日	日本武道学会	障がい者武道専門分科会企画シンポジウム テーマ「障がい者による武道を変える 障がい者による 武道で変わる スウェーデン・オーストラリア・ニ ュージーランドでの知見から」指定討論者：岡田龍 司（近畿大学）、岡崎祐史（武庫川女子大学）、近 藤雅一（わらしべ園）、中島たけし（障がい者武道協 会）、中尾智栄子 安田友美 黒瀧万里（武庫川女 子大学学生） コーディネーター：森脇保彦（国士舘大学）、松井 完太郎（国際武道大学） 場所：福山市立大学
2. 包括教育の在り方		2013年09月1 4日	日本応用心理学会	日本応用心理学会 第80回記念大会【自主企画ワー クショップ6】の指定討論者として参加 日本応用心理学会 第80回記念大会発表論文集 P15 包括教育の在り方 企画・司会：徳安秀正、橋本昇、森脇保彦、山内直 人、奥谷貴昭 話題提供者：角杉昌幸、太田熊野、 指定討論者：泉 賢司、岡田龍司、岡崎祐史 場所：日本体育大学
<b>6. 研究費の取得状況</b>				
<b>学会及び社会における活動等</b>				
年月日		事項		

学会及び社会における活動等

年月日	事項
1. 2017年4月1日～	日本体育学会
2. 2016年4月～	兵庫県学生柔道連盟副理事長
3. 2013年～	日本応用心理学会
4. 2011年8月	全国高校体育連盟柔道部（表彰）
5. 2010年4月～	関西学生柔道連盟理事
6. 2009年4月から2016年3月	兵庫県学生柔道連盟評議員
7. 2005年8月～	日本スポーツ法学会
8. 2004年9月	三田市民大学 講師
9. 2002年2月	兵庫県中学校体育連盟研究大会 講師
10. 2001年8月	学校体育実技武道（柔道）認定講習会 講師
11. 1997年4月～	日本武道学会